

「大山町じぶんと・ひと・くらし創生総合戦略」の外部検証委員会 結果

大山町

は、政府の「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、平成27年10月に「大山町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、



▲Dスクールの様子

総合戦略)を策定し、その計画に沿った地方創生事業を、地方創生交付金を活用しながら実施しています。

総合戦略外部検証委員会では、年度ごとに事業効果を数値目標に限らない広範囲の視点から検証を行うこととしており、今年度は、8月8日に実施しました。

平成28年度に実施した地方創生事業について、下記のとおり委員の方からご意見をいただいたので報告します。

この検証結果を踏まえ、29年度も継続される事業について、検証結果を参考にしながら展開していきます。また、必要に応じて外部検証委員会を開催し、本町の地方創生事業を総合戦略の目標に即した実りあるものにした

事業名	目的	成果(実績)	検証委員の主な意見
大山町の新たな価値創造事業	大山町の資源を活用し、実践体制の構築や人材の確保・育成を行い、若者に魅力的な雇用の創出を図る。	5つの事業(芸術1・交流2・スポーツ1)を実施。この事業を通して移住者や若者への魅力的な雇用の創出を行った。	・起業に結びつける相談事業も行ったから効果が上がる。 ・雇用創出へと繋がる事業であるか客観的にわかりにくい。 ・実施事業を発表する場を設けてはどうか。
地域の「稼ぐ力」創生事業	若者・女性・働き盛り世代等にとって魅力のある職場を生み出すため、大山町地域活性化スクール(Dスクール)にて、起業へのチャレンジを促す。	研修会を15回実施。受講者への仕事の依頼はあったが、ビジネスまでには至っていない。	・十分な広報ができていたのか、自分が知っていれば紹介した。 ・若者や女性が夢を持って企業へチャレンジできる体制整備が必要ではないか。
大山グルメ食道飛躍編事業	大山の「食」を町の魅力として確立するため、「大山グルメ食道」のより一層の事業促進を図る。	町内食べ歩きスタンプラリーと食の冊子を制作。魅力ある商品づくり、情報発信事業に取り組んだ。	・商工会との連携の中で、「女性の活躍の場創出事業」「新たな価値創造事業」などと事業連携をすともっと効果が上がる。 ・好感のもてる冊子である。 ・若い女性のみでなく、幅広い層へ延ばしていけばどうか。 ・グルメというには難しい商品もある。
大山グルメ食道飛躍編商品力向上事業	大山の「食」を町の魅力として確立するため、商品パッケージ・ホームページ・販売ツールなどの改善を図る。	5事業者を支援。商品価値の向上及び収益向上を図り、大山町の経済活性化を推進した。	・起業された方に、理由や方法など発表してもらう機会をつくってはどうか。 ・協議会への参加の広報はできているか。 ・起業へ向けて、資金調達などきめ細かな支援体制が必要。
女性の活躍の場創出事業	大山町の地域資源を活用した女性の働き場づくりを調査研究し、「女性が働く社会」「小さな経済」の実現を図る。	協議会を5回、社会実験1回、視察研修を1回実施。女性による起業が2件あった。	